

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第39号

平成30年7月1日発行
発行/千葉県がんセンター

基本理念

私たちは、心と体にやさしく、希望の持てるがん医療を提供します。

巻頭言



新年度のご挨拶

千葉県がんセンター病院長 **山 口 武 人**

腹腔鏡下手術による医療事故・不祥事などで、千葉県がんセンターは都道府県がん診療拠点病院の指定を3年間取り消されていましたが、本年4月1日より再指定を受けることができました。がん拠点病院の皆様やがん拠点病院事業にかかわる関係者の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしたことを改めてお詫びいたします。千葉県がんセンターはこの間、患者さんに安全で良質な医療をご提供できるための、組織的な改革に取り組んできました。手前味噌で恐縮ですが、まさに職員一丸となって医療安全を中心とした組織改革、意識改革を行いました。もちろん自分たちで改革できたと思っても自己満足に過ぎないかもしれませんが、県病院局に設置された医療安全監査委員会による監査、日本病院機能評価機構による審査、また2度にわたる厚労省による医療安全視察により、我々が備えるべき水準の医療安全が確保されていることを評価していただきました。そして、その結果が今回の再指定につながったものと考えています。医療事故・不祥事によって大変なご迷惑をおかけした患者さん、ご家族（ご遺族）のお苦しみには無論及びませんが、職員もつらい思いをしたことは事実です。しかし、そのような辛い時期を経て現在、千葉県がんセンターの組織

体制は大きく改善されたと思います。何よりも医療安全に対する我々の意識が変わったことと、透明性が得られたことは大きな進歩と自負しています。苦しみの後に我々が本当に生まれ変わったかどうかは、患者さん・ご家族の信頼をもう一度取り戻すことができるかにかかっています。千葉県がんセンター腹腔鏡下手術に係る第三者検証委員会報告書の提言にある、「患者・家族からの貴重な信頼を裏切ってはならない。医療に従事するものが、患者の立場に立って、医療の質を保証することの重要性を深く自覚し、それを実現するための体制を整備することが何よりも重要である」を忘れることなく、今後も改善に努めて行くことが重要と考えています。

新年度に千葉県がんセンターが指定を受けたことが、もう一つあります。それはがんゲノム医療連携病院であり、千葉県では千葉大学病院とがんセンターの2施設のみが指定されました。千葉県にあるがんゲノム医療中核病院は国立がん研究センター東病院で、千葉県がんセンターはその連携病院として今後、県のがんゲノム医療の中心を担って行くこととなります。新病院の建設も、2年後の春の完成に向けて順調に進んでいます。これからも良い病院作りに励んでまいりますのでご支援のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

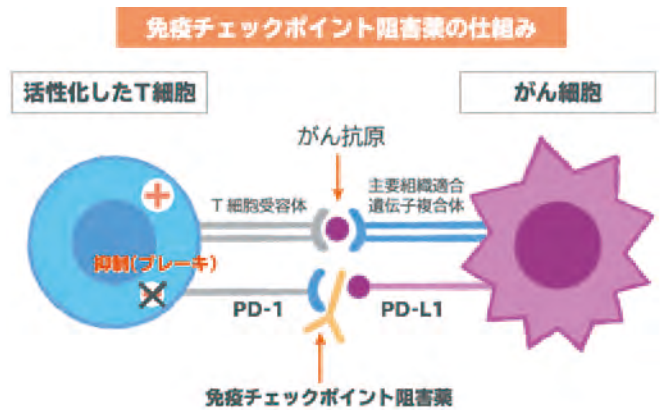
臨床の現場から

肺がんの免疫チェックポイント阻害剤療法

呼吸器内科 部長 新行内雅斗

肺 がんは、1998年から日本人のがん死亡率のトップに胃がんを抜いてなりました。診断時に手術ができる場合は全体の3～4割で、残りは手術適応にならない進行した状態です。進行肺がんの治療として重要なのは、抗がん剤治療になります。現在、最も注目を浴びているものは、免疫療法の一つである「免疫チェック阻害剤」です。がん細胞を攻撃するT細胞が暴走することを防ぐため、いくつかのブレーキ機構が備わっています。これを免疫チェックポイントと言います。がん細胞は、この免疫チェックポイントを利用して、T細胞にブレーキをかけてT細胞からの攻撃を逃れようとします。がん細胞によるブレーキが、かからないようにする薬が免疫チェック阻害剤です。日本では、最初に悪性黒色腫に対してニボルマブが保険適用になりました。2015年12月に進行・再発の非小細胞肺がんに対しても適応となり、肺がんの治療にも免疫チェック阻害剤を使用できるようになりました。ニボルマブは2番目以降の治療薬として使われていますが、2017年2月に保険適用となったペンプロリズマブは、条件があれば、初回治療から使用できます。これらの免疫チェック阻害剤は、従来の細胞

障害性薬剤での治療成績を上回る結果も示されています。副作用は、細胞障害性薬剤よりも軽いですが、まれに免疫関連の副作用が認められます。ごく稀には命に係わることもあります。最近では、化学放射線治療後の維持療法としてや細胞障害性薬剤との併用療法としても有効であるが報告されました。また、頭頸部がん、悪性リンパ腫、腎がん、胃がんなど様々な悪性腫瘍にも適応が拡大しています。今後、同種の薬剤が次々と開発されていくでしょう。問題点としては、薬剤費が高額であること、効果が期待できる症例を明確に区別することが難しいことなどがあります。今後、免疫チェックポイント阻害剤療法をうまく利用することによって、肺がんの治療成績が向上することが期待されます。



がんプラスホームページから引用
(<https://cancer.qlife.jp/lung/article1509.html>)

新病院の建設が始まりました。



完成予想図

建設規模

階数	地上9階・地下1階	病床数	450床
延床面積	約54,000㎡	構造	鉄筋コンクリート造 (免震構造)

現在の千葉県がんセンターは本館部分が45年を経過したため、新病院の建築が行われることとなりました。

2017年12月1日、八坂神社にて地鎮祭が行われ、現在の病院の西側に2020年（平成32年）完成予定で、地上9階、地下1階の新しい病院の建設工事が始まり、新たな一步を踏み出しました。なお、新病院の建設コンセプトは①高齢化に伴う患者増・がん医療の集約化への対応、②高度かつ良質ながん医療の提供、③地域連携の充実・強化、④おもてなし（ホスピタリティー）病院の実現⑤安定的運営基盤の確立の5つに基づいています。

地域医療連携室だより

「心と体総合支援センターについて」

がん専門相談員 中村 晃子

心 と体総合支援センターは、がん相談支援センター・地域医療連携室・患者図書室と千葉県の事業として受けている千葉県地域統括相談支援センターと4つの部門で成り立っており、地域の患者さんご家族を支援する部門です。千葉県がんセンターに通院している方だけでなく、他の病院に通院している方や一般の方の相談も受けています。

がんと診断された時の不安や治療費用の相談に始まり、治療を待っている時の心配や治療後の生活への不安、仕事との調整についてや治療中の外見変化の相談など、その時々で心配事が変化する患者さんご家族を支援しています。近年では治療の開発も進み、治療選択肢が広がったことで患者さんご家族が治療を決定する、という場面が日常化しています。相談の内容も、「次の治療までに自分で決めないといけない。どうやって決めたらよいか。」というものが増えています。

過去の相談例をご紹介します、ということもしておりますが、近年私達が新たに提案できることとして、『がんピア・サポート』があります。ピアとは仲間、という意味で仲間同士の支援となりますが、患者さんご家族同士が自分の経験を分かち合うことで、先の見通しを得たり不安な気持ちを楽にすることができるのです。最初にお伝

えた、千葉県地域統括相談支援センターが、千葉県がんピア・サポーターを養成し、こうした活動を支援している所になります。統計的にも多くの方ががんを経験する時代になってきています。この10年あまりで入院の期間も短くなり、通院治療の幅が広がりました。生活の場に治療が入り込み、ご自身で考え進めていくことががん医療では多くなってきています。わからないこと、進み方に迷った時は、電話と面談でのご相談に対応しています。また医療者や介護の現場の方からのご相談も多く寄せられていますので、お気軽にご利用ください。



相談ならどんなことでも、「がん相談支援センター」をご利用ください

- 治療・医療のこと
- 生活・仕事のこと
- 病院のこと
- 治療費のこと
- 不安なこと
- 副作用のこと
- 相談無料
- 面談と電話
- 予約不要
- どなたでも

がん専門相談員（看護師・ソーシャルワーカー・ピアカウンセラー）がお待ちしております

千葉県がんセンター がん相談支援センター
043-264-5431(代線)
043-264-6801(直通)
平日 9時～17時



治験臨床研究センター長就任のご挨拶

治験臨床研究センター長 石井 浩

昭和61年千葉大学卒で旧第一内科に入局、その後、国立がんセンター、がん研有明病院、四国がんセンターを経て、本年4月から赴任いたしました。肝胆膵がん薬物療法が専門ですが、当院での使命は治験臨床研究の支援推進です。

当院の基本方針「新しい医療の研究開発を行い、高度先進的な医療をめざします」を実現するため、現在治験100課題が進行中です。治験を希望される患者さんがおられましたらご紹介よろしくお願ひ申し上げます。

治験アップデート

治験臨床研究センターでは募集中の治験等の情報を提供しています。概要は以下のとおりですが、詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

当センターでは以下の治験を実施しています

ホームページアドレス

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/riyo/kanja/chiken/2017/jissijoukyou201706.html>



現在募集中の治験情報 H30年5月30日現在

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|------------|
| ①乳がん 6件 | ④膀胱がん 2件 | ⑦膵がん 1件 | ⑩神経膠腫 1件 |
| ②胃がん 8件 | ⑤前立腺がん 2件 | ⑧胆道がん 1件 | ⑪悪性リンパ腫 4件 |
| ③大腸がん 1件 | ⑥食道がん 3件 | ⑨頭頸部がん 1件 | その他のがん 3件 |

研究の現場から

中分子創薬開発事業開始

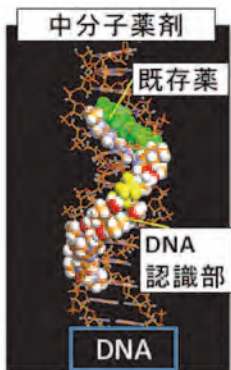
千葉県がんセンター研究所 所長 永瀬 浩喜

研

究所では日本医療研究開発機構より公募された次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「先端的な中分子創薬関連技術の開発」に課題「DNA副溝認識化合物による画期的ゲノム創薬技術開発 (Development of designable bioactive molecules, capable of sequence-specific DNA binding)」を応募し、採択されました。4月1日より本課題で3年間の事業を開始します。

これまでの創薬は、病気の原因となる蛋白質の構造を標的にして低分子薬と呼ばれる小さな分子での創薬と抗体薬のような分子量の大きな分子を利用した薬剤の開発が主なものでした。しかし、この方法だけでは

難治疾患に対する治療薬開発は困難と考えられ、新たな方法の開発が必要です。その中で近年、小さくも大きくもない中間の中分子を利用することが注目されるようになりました。千葉県がんセンター研究所では、タンパク質を標的にするだけでは創薬開発には限界があると考え、図に示すようなゲノム遺伝子を直



接標的にする治療薬の開発を8年前から提案してきました。この研究が実を結びゲノムDNA配列を直接認識して機能性化合物(既存薬)を疾患原因遺伝子で直接作用させ、遺伝子の発現を止めたり、出させたりもしくは破壊する薬剤を開発できるようになり、実験動物でも抗癌効果が得られ、千葉県で特許を申請しました。この研究の積み重ねによって既に薬剤候補を設計し、次々に合成するためのプラットフォームを千葉県がんセンター研究所に築きました。がん遺伝創薬研究室を中心に腫瘍ゲノム研究室、がん先進治療開発研究室と連携して難治疾患、特にがん治療に新たな薬剤候補を供給できる体制を構築したことと、この創薬開発技術が、今後期待できると評価されたことで今回の採択に至っています。今後、今までに無かった中分子の薬剤候補を次々に合成し、研究を進めることで治らないがんを治せる薬を見つけだし、一日も早く患者さんに届けられるよう研究に邁進していきます。



がん遺伝創薬研究室：遺伝子機能解析センターで若手とシニアが薬の開発に励んでいます。

サルコーマセンターを開設しました

千葉県がんセンター サルコーマセンター長 米本 司

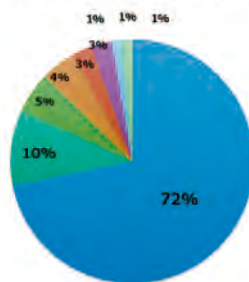
この度、千葉県がんセンターでは県内の医療施設では初めて診療科横断的な体制の「サルコーマセンター」を開設しました。

間葉系組織にできる悪性腫瘍の多くは「肉腫(英語ではサルコーマ)」と呼ばれる「がん」の一種です。しかし、肉腫はがん全体の約1%を占めるに過ぎず、しかも様々な種類(組織型)があるため診断・治療に難渋することが少なくありません。また、肉腫は様々な年齢、部位に発生するため診療科の枠を超えた連携が必要不可欠です。

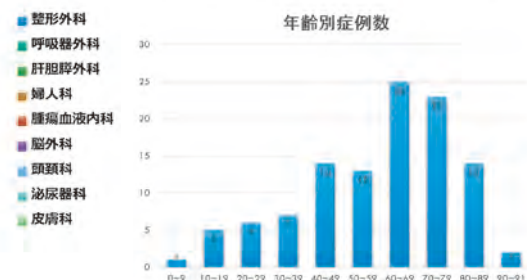
サルコーマセンターでは、各診療科が密に連携・協力して、サルコーマボード(カンサーボード)の開催、サルコーマ外来を行い、肉腫患者さんの適切な診断・治療を行い、患者さんの生活の質(QOL)を向上することを目指しています。また、サルコーマセンターでは新規診断・治療法の開発や研修医の教育や肉腫専門医の育成にも力を入れています。

肉腫と診断された患者さんでどの科へ紹介したら良いかわからない場合には「サルコーマ外来」へご紹介頂ければ幸いです。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

昨年度(H29年度)の肉腫の診療科



昨年度(H29年度)の肉腫の年齢分布 9~91歳(平均59.1歳、中央値63.5歳)



千葉県がんセンター副院長 浜野 公明

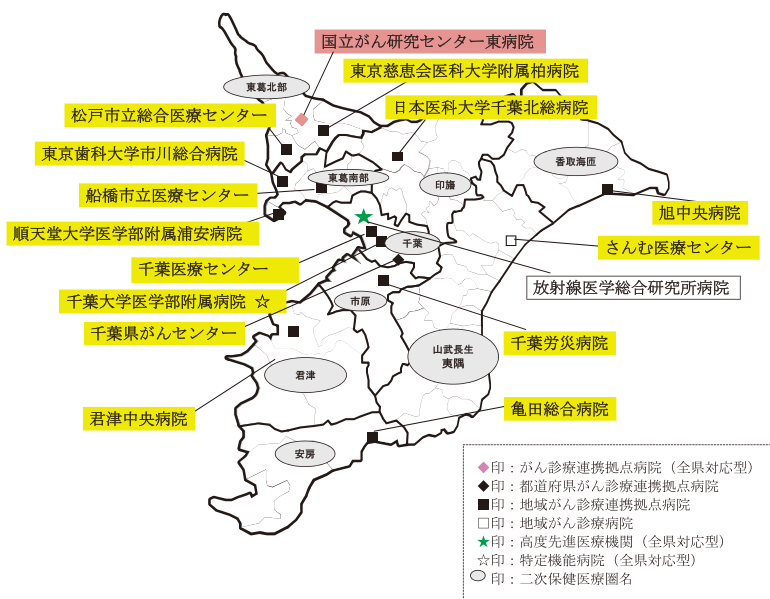
都道府県がん診療連携拠点病院に再指定されました

平成30年4月、当センターは都道府県がん診療連携拠点病院に再指定されました。

都道府県がん診療連携拠点病院は、都道府県内のがん医療において中心的役割を果たすよう厚生労働大臣が指定する病院で、千葉県には当センターの1病院のみが指定されています。

当センターは、都道府県がん診療連携拠点病院として多くのがん種に対応し、専門的かつ高度ながん医療を提供しています。また、県内14のがん診療連携拠点病院等で構成する千葉県がん診療連携協議会を設置し、県内のがん診療連携協力体制の整備を担っています。緩和ケア、相談支援などの分野毎に連携を強化し、県内のがん診療の質向上を図っています。さらに、充実した医療安全体制を整備し、高度・先進的な医療に対応した安全を確保するよう努めています。

千葉県がんセンターは、都道府県がん診療連携拠点病院として、これからもがん診療機能の更なる充実を図りつつ、千葉県全体のがん医療の質向上に貢献していきます。



がんゲノム医療連携病院に指定されました

平成30年4月、当センターはがんゲノム医療連携病院に指定されました。

がんゲノム医療連携病院は、がん患者の遺伝情報に基づいて最適な治療薬を選ぶ「がんゲノム医療」を進める病院として厚生労働省が今年度、指定を始めたものです。県内では千葉県がんセンターと千葉大学医学部附属病院の2病院が選ばれました。

がんゲノム医療連携病院は、中心となるがんゲノム医療中核拠点病院と連携してがんゲノム医療を推進することになっており、当センターは柏市にある国立がん研究センター東病院と連携しています。

がんゲノム医療は、患者さんのがん組織などを、次世代シーケンサーと呼ばれる解析装置を使ってがんの原因となっている遺伝子変異を特定し、専門家が相談して治療法を決めるものです。今は検査法の開発段階ですが、近い将来の実用化が期待されています。

千葉県がんセンターは、一日でも早く、患者さんがゲノム医療を受けられるよう、準備を進めてまいります。

千葉県内のがんゲノム医療連携病院（平成30年4月1日現在）

がんゲノム医療連携病院	連携するがんゲノム医療中核病院
千葉県がんセンター	国立がん研究センター東病院
千葉大学医学部附属病院	国立がん研究センター中央病院 京都大学医学部附属病院

初診担当医表

予約受付時間 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 9時～17時

2018年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金
肝胆脾外科	千葉 聡	高山 亘	高山 亘 石毛 文隆	柳 浩男	千葉 聡 有光 秀仁
食道・胃腸外科	池田 篤 外岡 亨	鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	滝口 伸浩 池田 篤	鍋谷 圭宏 滝口 伸浩 郡司 久	早田 浩明 星野 敢
消化器内科	傳田 忠道 鈴木 拓人 喜多 絵美里 天沼 裕介	傳田 忠道 須藤 研太郎 三梨 桂子 南金山 理乃	山口 武人 傳田 忠道 中村 和貴 三梨 桂子	傳田 忠道 鈴木 拓人 辻本 彰子 三梨 桂子 石井 浩	中村 和貴 須藤 研太郎 天沼 裕介 北川 善康
呼吸器外科	岩田 剛和		飯笹 俊彦 岩田 剛和 松井 由紀子		岩田 剛和 松井 由紀子
呼吸器内科	芦沼 宏典 水野 里子	新行内 雅斗 吉田 泰司 芦沼 宏典		新行内 雅斗 吉田 泰司 水野 里子	芦沼 宏典
乳腺外科	山本 尚人 味八木 寿子	味八木 寿子 (担当医)	中村 力也 松本 玲	(担当医)	中村 力也 味八木 寿子 松本 玲
形成外科				徳元 秀樹 新井 美波	徳元 秀樹
婦人科	大崎 達也	田中 尚武 鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢 桂子	大崎 達也	田中 尚武 鈴鹿 清美 井尻 美輪 海老沢 桂子	大崎 達也
泌尿器科	小丸 淳 裴 祥存	鎌迫 智彦	白川 昇英 宋本 尚俊	小林 将行 植村 俊彦	深沢 賢 白川 昇英
腫瘍血液内科	熊谷 匡也 佐藤 昌靖	辻村 秀樹 菅原 武明	熊谷 匡也 菅原 武明 佐藤 昌靖	熊谷 匡也	熊谷 匡也 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦	(担当医)	井内 俊彦	(担当医)	堺田 司
頭頸科	(担当医)	佐々木 慶太 佐々原 剛 木下 崇		佐々木 慶太 佐々原 剛 大熊 雄介	
整形外科	石井 猛 米本 司 塚西 敏則	石井 猛 嶋田 博人		石井 猛	米本 司 嶋田 博人 塚西 敏則
緩和医療科	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦	藤川 文子	坂下 美彦
精神腫瘍科		樋田 紫子			
核医学診療部		小川 和行	久山 順平	久山 順平	小川 和行

診療予約のご案内 予約電話 043-264-5431(代表番号) 地域医療連携室 予約担当

- *当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
- *初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 萱田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

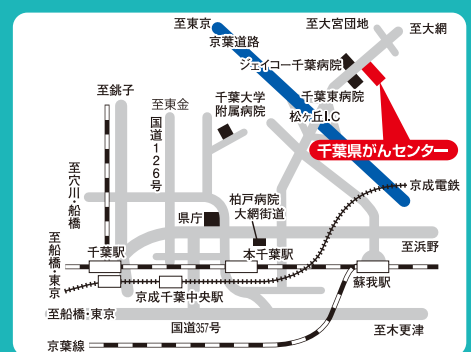
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>